

## ノーリツ「おふろ白書インターナショナル」 日本のおふろに出会った日本在住の外国人 644 人の実態・意識調査 半数が日本で「浴槽に」「就寝前に」「長くつかる」ように変化！ いっぽうで「ひとりで入る」が 7 割と圧倒的

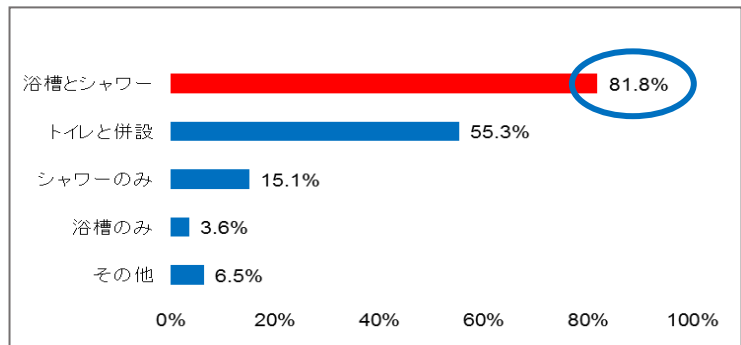
～来日して「家族でお湯のシェア」にビックリが 65%！推し No.1 は「ハイテク機能」！～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金 201 億円、東証一部上場)は、日本文化の特長のひとつである「おふろ」について、日本在住の外国人(英語話者)を対象に、入浴に関する実態・意識調査を実施しました(有効回答数 644 人、調査概要は巻末に記載)。ノーリツでは現在、アジア・北米・豪州をはじめ世界に向けて、日本の湯まわり設備の特長を生かした給湯器などの販売を展開しています。今回の調査で、外国出身の方から日本のおふろがどう理解されているのかを、実際に入浴体験をしている日本在住者を対象に調査しました。

### 日本に来る前「本国では『浴槽・シャワー』『トイレ』が同じ部屋」が半数以上

■ あなたの本国でのバスルームの設備を教えてください(n=644、複数回答)

調査の最初に、本国での浴室の設備を尋ねたところ、「浴槽とシャワーがある」(81.8%)がトップで、次いで「浴室にトイレが併設されている」(55.3%)ことがわかりました。今回の回答者は英語話者を主な対象としているため欧米出身者が多くなっていますが、本国では「浴槽・シャワー」そして「トイレ」が同じ部屋であることが多いことが読み取れます。少数ながらも「ビデ」、「サウナ」が備わっているとの回答も挙がりました。

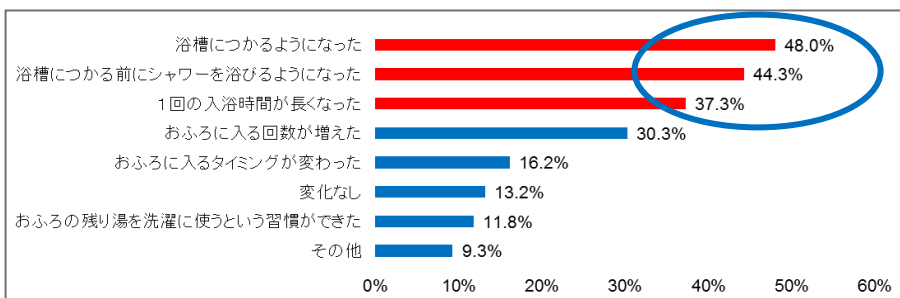


- その他:「シンク」、「ビデ」、「サウナ」など (自由回答の要素を集計、複数回答の場合は累計。以下同)

### 日本に来ての入浴三大変化—「浴槽に」「就寝前に」「長くつかる」に！

続いて、訪日してからの入浴習慣の「変化」を調査しました。「浴槽につかるようになった」(48%)と「浴槽につかる前にシャワーを浴びるようになった」(44.3%)が上位を占め、在日外国人が日本のおふろ習慣に近づいている様子が明らかになりました。次いで、「1回の入浴時間が長くなった」(37.3%)と「入浴回数が増えた」(30.3%)との回答があり、日本に来てから入浴に関する時間が長くなっている傾向がうかがえます。この他、「座ってシャワーを浴びるようになった」との声も聞かれ、長身の外国人が日本のおふろ事情に合わせて日本式に入浴している様子もうかがえました。

■ 日本に来てから、入浴習慣にどのような変化がありましたか？(n=644、複数回答)

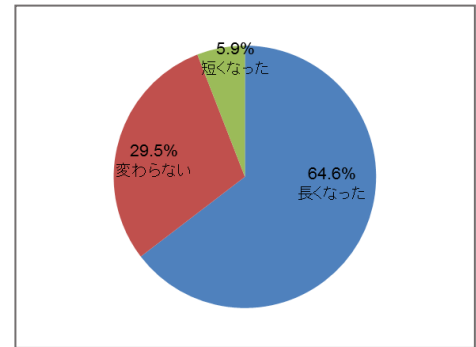


- その他:
  - ・温泉や銭湯に行くようになった(計24人:アメリカ、オーストラリア、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、ニュージーランド、インド、フィリピン)

- ・座りながらシャワーを浴びるようになった(アメリカ、カナダ、フランス、スロベニア)
- ・バブルバスの頻度が減り、バスソルトや入浴剤を使うようになった(イギリス)
- ・1日2回入るようになった(イギリス)
- ・薪風呂が気にいって使っている(オーストラリア)

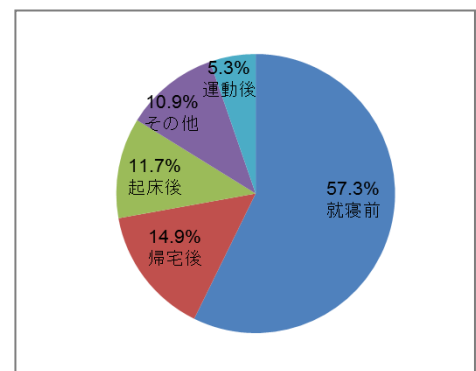
■ 本国にいたときに比べて入浴時間に変化はありましたか？(n=644、単一回答)

「入浴時間の長さ」で見えていくと、本国にいた時と比べた入浴時間の変化を尋ねたところ、**大半の外国人が「長くなった」(64.6%)**と回答しています。皆、日本のお風呂を好意的に受け止め「Like」と考えてくれている結果といえるかもしれません。



「入浴の時間帯」で見えていくと、入浴時間については「**就寝前**」(57.3%)がトップとなりました。英語圏では、起床後にシャワーを浴びるのが一般的ですが、日本式の「就寝前」に変化している人が6割近くです。次いで「帰宅後」(14.9%)と「起床後」(11.7%)と1日1回入浴する回答が大半を占めている一方、少数ながらも「朝にシャワーを浴び、夜は浴槽につかる」、「朝晩2回入浴する」といったお風呂好きの回答もみられました。さらに、「疲れた時」、「リラックスしたい時」に入浴するという、身体の衛生管理というより疲労回復を主な目的として入浴していることもわかりました。

■ 入浴の時間帯を教えてください(n=644、単一回答)

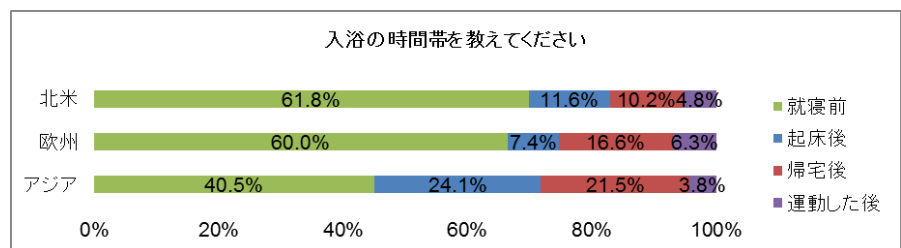


● その他:

- ・決まっていない、日によって違う、季節によって違う(アメリカ、オーストラリア、フィリピン)
- ・朝晩2回入浴(アメリカ、イギリス、フランス、メキシコ、インド)
- ・朝にシャワー、夜は浴槽につかる(アメリカ、シンガポール)
- ・疲れた時(イギリス、ポーランド、インド、インドネシア)
- ・リラックスしたい時(アメリカ、オーストラリア、マレーシア)

以上のように興味深い結果が出た「入浴の時間帯」。さらに、北米、欧州、アジアの比率を比較してみたところ**就寝前に入浴している割合は6割超と北米が最も多く、起床後に入浴する人の割合が最も高いのはアジア**であることが明らかになりました。

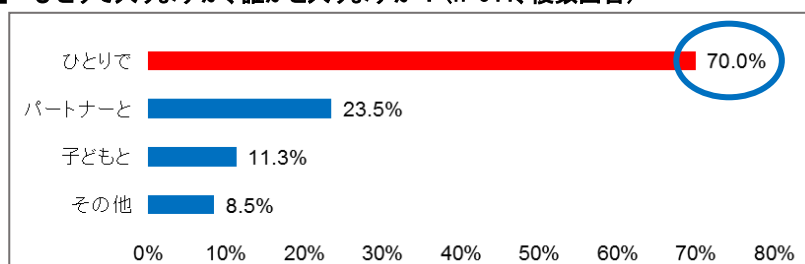
■ 北米、欧州、アジア出身者を比較。入浴の時間帯を教えてください(n=547、単一回答)



## 日本に来て変わらないこと-ひとりで入ることが多い人が7割と圧倒的

特に米国など英語圏では、子どものうちからひとりで入浴するように育てられる傾向がありますが、現在日本で誰と入浴するのか質問したところ、「**ひとりで入浴**」(70%)が圧倒的な割合を占めました。後述の「日本のお風呂で改善してほしいこと」の回答で「**裸で他人と一緒に入ることや、体を洗っているところを見られるのを懸念**」しているといったコメントもあり、プライバシーを確保した本国での入浴習慣を日本でも続けているようです。一方で、「訪日してからパートナーと一緒に入浴するようになった」、家族以外では寮や温泉で友人と一緒に入るといった日本の入浴習慣を受け入れている声も聞かれました。

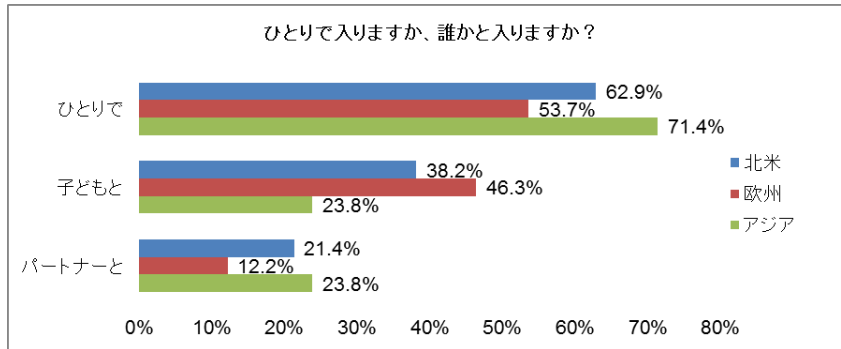
■ ひとりで入りますか、誰かと入りますか？(n=644、複数回答)



- その他：
  - ・寮に住んでいるので友人と入る時がある(フィンランド)
  - ・温泉に行くときは友人と入る(アメリカ)
  - ・私たちの文化におふろというものが無い代わりに、村で川に入ったりした(マレーシア)
  - ・日本に来てから、パートナーと一緒におふろに入るようになった(オーストラリア)

さらに、子どもを持つ北米、欧州、アジア出身者の入浴動向を比較したところ、**ひとりで入浴する割合が最も高いのはアジア出身者であり、子どもと入浴する割合が高いのは欧州出身者**であることがわかりました。同じアジア圏である日本人は子どもと入ることも多いため、この回答は少し意外な結果にも感じられます。

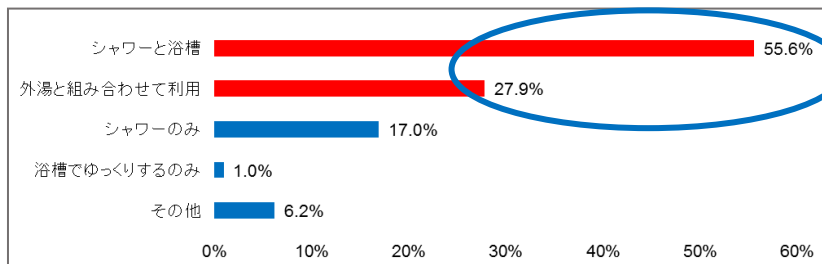
■ 子どもを持つ北米、欧州、アジア出身者を比較。ひとりで入りますか、誰かと入りますか？(n=151、内北米89人、欧州41人、アジア21人、各地域出身者の全体数を母数に割合を算出。複数回答)



## 内湯と外湯を組み合わせている人が3割！「SENTO」利用経験者も6割 内湯では2人に1人は「音楽を聴く、テレビを観る」で一般的！?

現在の日本での入浴スタイルについて尋ねたところ先ほどの変化の調査のとおり「シャワーを浴びかつ浴槽につかる」(55.6%)が過半数を占めていますが、**次いで「内湯と外湯を組み合わせている」(27.9%)との回答も挙がりました。**外湯を利用する背景には、後述の「日本のおふろで改善してほしいこと」で寄せられた「浴槽を長く、幅広にしてほしい」、「シャワーを取り付ける場所をもっと高くしてほしい。背が高すぎて立ってシャワーを浴びることができない」という困った事情もあるとみられます。また、本問の「その他」でも「冬は浴室の温度が寒すぎるため家ではタオルで体を拭き、スポーツジムでシャワーを浴びる」といった回答も寄せられ、日本独自の建築事情もあるようです。さらに、全体の1%ではあるものの、「浴槽でゆっくりするのみ」とリラックスや疲労回復の機会として位置付けていることもわかりました。

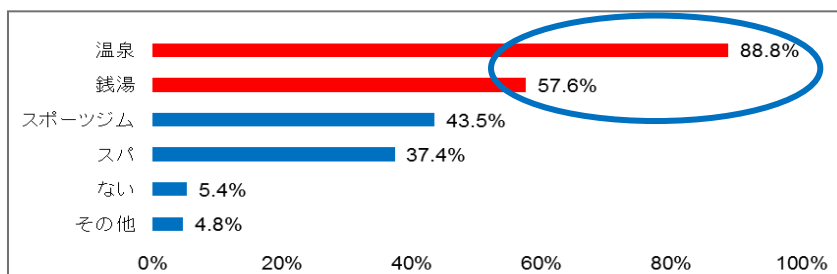
■ あなたの今の日本での入浴スタイルを教えてください(n=644、複数回答)



- その他：
  - ・定期的に温泉や銭湯に行く
  - ・冬はおふろ場が寒すぎるので、家ではタオルで拭くのみでジムに行った時シャワーを浴びている
  - ・おふろにつかりたいが小さすぎて寝転がれない

内湯と外湯の併用というスタイルも楽しんでいる人が多いことがわかりましたが、日本で利用したことのある外湯をきいたところ「**温泉**」(88.8%)が**トップ**となり、**次いで「銭湯」(57.6%)**が挙げられました。この他変わった場所として、「野湯」や「漫画喫茶」などの回答も寄せられました。

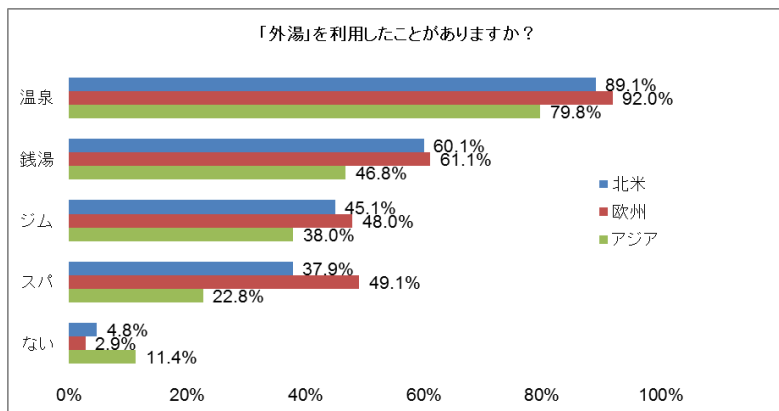
■ 「外湯」を利用したことがありますか？(n=644、複数回答)



- その他：
  - ・漫画喫茶(アメリカ) ・プール(ドイツ、フランス)
  - ・韓国のチムジルバン(カナダ) ・学校(アメリカ)
  - ・五右衛門ぶろ(ニュージーランド) ・野湯(イギリス)
  - ・川浴いの温泉(ノルウェー) ・ゴルフコース(アメリカ)

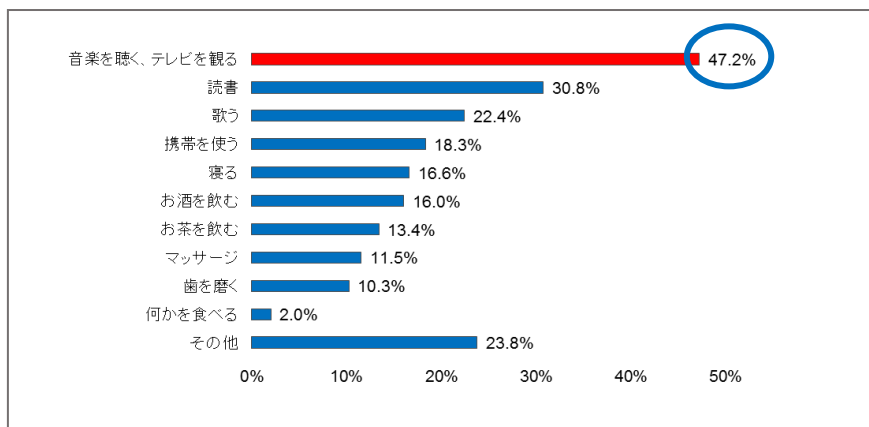
外湯の利用について北米、欧州、アジアの回答を比較したところ、僅差ながらも欧州勢が外湯を利用している割合が最も高いことがわかりました。

■ 北米、欧州、アジア出身者を比較。「外湯」を利用したことがありますか？(n=547、複数回答)



■ 入浴中によくすること(n=644、複数回答)

いっぽう、内湯で入浴中によくすることを探ねたところ、様々な回答が寄せられ、最も多かったのが「音楽を聴く、テレビを観る」(47.2%)となりました。次いで多かった回答が「読書」(30.8%)と「歌う」(22.4%)となりました。当社で昨秋に国内対象に調査した「おふろ白書2016」では、「音楽を聴く」は20代以下の若者世代でも9.7%であり、海外の



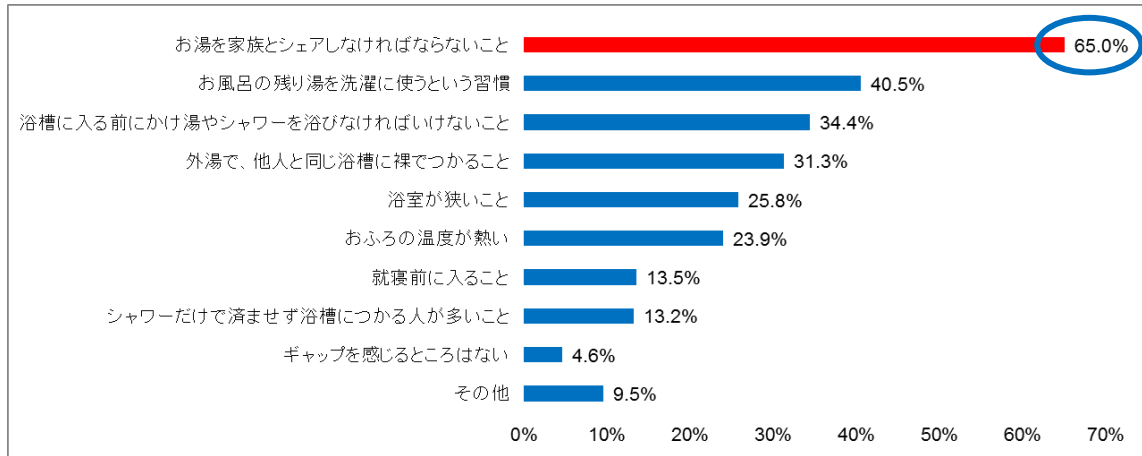
人はおふろでの音楽生活をエンジョイしていることがうかがえます。その他、自由回答では「リラックス」「瞑想」といった浴槽につかることに集中する一方、「子どもと遊ぶ」や「その日の地震情報を聞き漢字の勉強」、「鏡を磨く」、「運動をする」といった入浴時間を有効に使う様子もうかがえました。

- その他：
  - ・ただリラックスする(計50人：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、ドイツ、イタリア、インド、フランス、スペイン、セルビア、スロバニア、チェコ、ボリビア、ペルー、マレーシア)
  - ・瞑想(計14人：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、エクアドル、ウルグアイ、インドネシア)
  - ・考え事(計13人：アメリカ、カナダ、イギリス、オーストリア、イタリア、ボリビア)

**来日して「お湯のシェア」にビックリが65%！推しNo.1は「ハイテク機能」！**

このように日本のおふろ文化をエンジョイしていることがうかがえますが、来日しておふろに関して混乱したこと、ギャップを感じることを聞いたところ、トップは「お湯を家族とシェアしなければならないこと」でした。浴槽のお湯に家族と一緒に、もしくは順に入る文化には大きなギャップを感じたようです。次に「残り湯を洗濯に使う習慣」という回答が多く、お湯をシェアすること、洗濯に活用することには衛生的な意味でも抵抗感があるのかもしれませんが。「浴槽に入る前のかけ湯やシャワー」も多数でした。また、日本のおふろで本国の人にすすめてほしい点も尋ねたところ、トップは「ハイテク機能」でした。「追いだき機能」という自由回答もありました。浴室乾燥機、そして自動的に掃除をする機能、さらには残り湯を除菌する給湯器など、日本独自のハイテク機能が日々進化を遂げているという印象が強いようです。その他、季節に応じた入り方などにも「日本のおふろらしさ」を感じているようです。

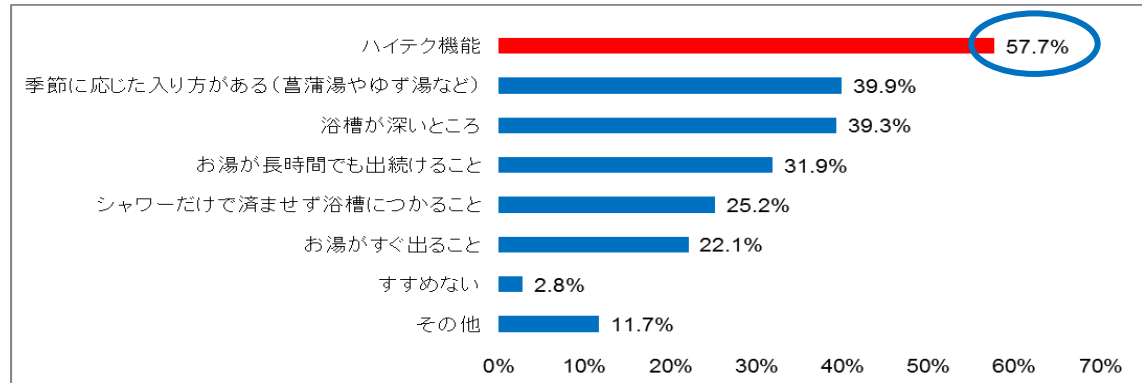
## ■日本のお風呂習慣・お風呂文化で混乱したこと・ギャップを感じることは？(n=326、複数回答)



### ● その他:

- ・夏に熱いお湯につかること
- ・日本では皆が毎日髪を洗うこと
- ・朝にシャワーを浴びないこと

## ■日本のお風呂習慣・お風呂文化で本国の人におすすめしたい、と思う点は？(n=326、複数回答)



### ● その他:

- ・追いだき機能 ・檜のお風呂
- ・オーストラリアではお湯がなくなってしまうので5分以上シャワーを浴びられなかったが、日本では30分お風呂に入っても大丈夫なところが良い。

## 日本のお風呂、もっと大きく！お手入れ性やハイテク機能の充実を！

最後に、日本のお風呂で改善してほしいことを「自由回答」で聞きました。その結果、最も多かった回答は、「浴槽を長く、あるいは幅広にしてほしい」という希望でまとめられる内容で、合計109人でした。皆、足をもっと伸ばして入浴したいのでしょうか。

また、日本の湿度が高い環境からか、「カビ対策や掃除性が向上してほしい」という声も多く出ました。「お手入れ性」という合理的な面も期待されているようです。さらに、特に外湯での「英語表記」の希望や、裸を他人に見られることへの懸念もありました。外湯に関しては、「国際化」が求められています。また、「自動洗浄機能」や「お湯の浄水機能」など、日本のハイテク技術に期待を込めた改善点も挙げられました。その他、「日本のお風呂は最高なので、本国に帰っても日本式のお風呂を家に設置したいと思っている」といううれしい言葉など、好意的な回答もありました。

## ■日本のお風呂で改善してほしいこと(n=644、自由回答)

### 【多く寄せられた回答】

- ・浴槽を長く、あるいは幅広にしてほしい(109人)
- ・カビ対策や掃除性が向上してほしい(27人)
- ・入浴方法や入浴マナー、効能等について英語表記をした方がよい(18人)
- ・裸で他人と一緒にお風呂に入ることや、体を洗っているところを見られるのを懸念(15人)

### 【複数寄せられた回答】

- ・自動洗浄機能がほしい
- ・お風呂場が寒すぎる
- ・お湯の浄水機能。日本に来るといつも肌荒れしてしまう
- ・お風呂のボタンに英語を追加してほしい

・シャワーを取り付ける場所をもっと高くしてほしい。背が高すぎて立ってシャワーを浴びることができない

・温泉や銭湯のお湯が熱すぎる

**【日本のお風呂に好意的な回答】**

・日本のお風呂は最高なので、本国に帰っても日本式のお風呂を家に設置したいと思っている  
 ・トイレとお風呂が別々の部屋にあるのが良いと思う

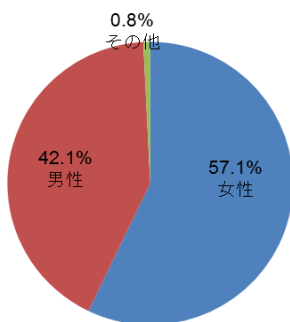
今回の以上の実態・意識調査から、海外出身の方は、日本で育った人と同様にお風呂を楽しんでいることがわかりました。一方で本国の習慣を守っている点があり、また、日本のお風呂の改善点についても多くの考えを持ち、今後に期待と関心を寄せてくれていることがわかりました。

当社では、国内向けとして、ノーリツ独自の技術でシステムバスに「おそうじ浴槽」としてスイッチひとつで自動的に浴槽洗浄からお湯はり・保温までできる便利な機能を搭載して、好評をいただいております。また、「高効率ガスふろ給湯器エコジョーズ GT-C2462 シリーズ」では、給湯器本体に除菌性能を実現した「UV 除菌ユニット」を搭載し、残り湯の菌の増殖を抑制します。今回の調査を受け、こうした当社独自の技術の結晶である製品や、創業して66年の間に積み上げてきたお風呂に関する情報を、さらに国内外に向けて発信強化していく予定です。

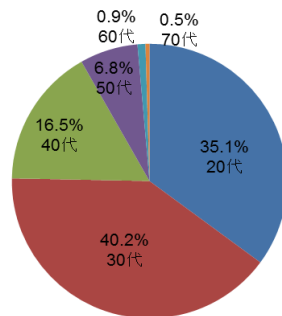
**調査概要**

- **調査目的** 在日外国人の日本のお風呂文化に対する実態・意識調査
- **調査方法** Webアンケート
- **実施時期** 2017年4月28日～5月17日(3週間)、追加調査5月26日～6月2日
- **調査対象** 雑誌「Tokyo Weekender」の読者を中心とした在日外国人(英語圏を中心とした62の国と地域出身の英語話者の男女)有効回答件数:644件
- **調査実施** ENGAWA株式会社

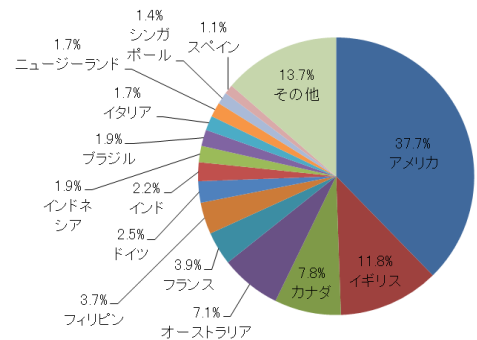
■性別



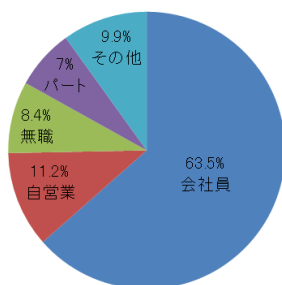
■年代



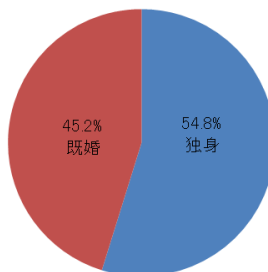
■出身国



■職業



■配偶者の有無



■子どもの人数

